

授業科目 高齢者健康増進学

【担当教員名】 小林 量作		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【一般目標：GI0】 中・高齢者の健康増進について、日本における現状・施策、健康増進における理学療法士の役割、地域における理学療法士の活動など知識を整理する。また、理学療法士活動場面などの実践例も見学する。					
【行動目標：SBO】 1. 健康増進・ヘルスプロモーションにおける日本の施策を理解する。 2. 理学療法士の役割、活動分野、地域浸透について理解する。 3. 運動器慢性疼痛に関連したEBMについて理解する。 4. 理学療法プログラムについて理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	健康増進・ヘルスプロモーションにおける日本の施策			1	講義、担当：小林 量作
2	理学療法士の役割、活動分野、地域活動			2	講義、担当：小林 量作
3	運動器慢性疼痛に関連したEBM；腰痛（学生発表）			3	講義・演習、担当：小林 量作
4	運動器慢性疼痛に関連したEBM；膝痛（学生発表）			3	講義・演習、担当：小林 量作
5	運動器慢性疼痛に関連したEBM；肩痛（学生発表）			3	講義・演習、担当：小林 量作
6	行動変容理論。地域介護予防分野における理学療法士の役割			2, 3, 4	講義、担当：小林 量作
7	産業保健分野における理学療法士の役割			2, 3, 4	講義
8	転倒予防教室、ロコモ予防教室の見学			2, 3, 4	演習、担当：小林 量作
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		健康増進と介護予防	鶴見隆正・編、大淵修一・編	三輪書店	2004・4,200円
その他の資料					
【評価方法】 出席確認を毎回実施して評点する。 学生の発表を評点する。 期末試験は筆記試験とする。			【履修上の留意点】		